

●事例紹介

全国障害学生支援センター活動紹介

殿岡 翼

(全国障害学生支援センター代表)

特集・障害学生支援

みなさん想像してみてください。入学試験を点字で受けたり、講義を手話通訳を使って受けたりする学生がいます。全盲や電動車いす使用の医師も誕生しています。日本では毎年三、〇〇〇人もの障害をもつ学生が大学を受験して、そのうち五〇〇人余りが入学しています。近年、障害学生に対する支援体制は社会的にも注目されるようになってきました。最先端の支援内容に取り組み、他の大学が目標にできるような大学も出てきています。また、長年にわたり障害学生の支援に取り組み、十分なノウハウを蓄積してきた大学もあります。しかし残念ながら、国内のすべての大学が、障害学生に門戸を開いているわけではありません。障害ゆえに受験を拒否する大学も、まだ残っています。

障害学生支援という言葉がまだ一般的なものになってい

なかつた一九九四年九月に、「障害学生の大学で学べる機会を広げることの一助となるに違いない」との認識から、東京都八王子市にある自立生活センター「わかこま自立生活情報室」が、日本にあるすべての大学に「大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査」を実施して、その結果を『大学案内障害者版』として発表しました。当時、障害をもつ学生がどの大学にどんなサポートがあるのか、自分を受け入れてくれる大学はどこにあるのか、一覧することはほとんど不可能でした。このような状況に対してこの本は、障害学生に新しい大学選択の道を開くものとなりました。

『大学案内障害者版』の発行は、マスコミをはじめさまざまな場面で取り上げられ、それを契機に、全国から「障害

学生の進学に関する情報が欲しい」など、問い合わせが増えていきました。一九九七年五月には、わかこま自立生活情報室の中に「大学における障害者の受け入れ状況に関する調査プロジェクトチーム」が発足しました。これが、現在の全国障害学生支援センター設立の基礎となりました。プロジェクトチームはその後『大学案内98 障害者版』、『学生生活を通して見えてきたもの』の出版に協力しました。

これらの活動を通じて、さらに障害学生や大学担当者からの問い合わせが徐々に増え、私たちはより積極的な障害学生支援の必要性を感じました。そこで一九九九年四月、障害のある学生のさまざまなニーズに応えられればという思いから、全国障害学生支援センターを設立し、同年一月をもって、わかこま自立生活情報室から大学案内関係の業務を引き継ぐ形で、町田市での活動を開始しました。

当センターの基幹事業である「大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査」はこれまで七回実施してきました。現在その項目は、受験可否をはじめ、授業・設備での配慮の状況など、一、〇〇〇を超えています。調査は、全国すべての大学、大学院大学、放送大学、および大学校（文部科学省所管外）が対象です。最新調査である二〇〇五調査は二〇〇四年六月から一〇月に行われ、計七十七校

が対象となりました。そして三七三校から回答をいただきました。これらの調査から得られた貴重な情報は、書籍やホームページで公開するほか、障害学生や大学関係者などへの相談で幅広く活用されています。

事業案内

全国障害学生支援センターでは、全国すべての大学の障害学生受け入れ状況を調査し、そのデータを使って『大学案内障害者版』の発行（書籍とホームページ）や、相談・情報提供事業などを行っています。障害をもつ当事者が中心となって運営している非営利の民間団体で、当事者ならではのサービスを行っているのが特徴です。

※センターにある情報は大学・大学校のみです。大学でも学部別の状況、短期大学・専門学校などの調査は行っておりませんのでご了承ください。

《もっと知りたい!! 大学情報》

……どうなってるの? ○○大学…… (情報提供事業)

大学からご回答いただいたデータはセンターのホームページに掲載しています。今年度(二〇〇四年実施の調査)の情報は随時更新していきます。知りたい大学があるときはお問い合わせください。

※利用料金 情報提供基本料金一回五〇〇円+大学別一校あたり五〇円(ホームページは無料)

……見つけた!! 条件にあう大学を…… (情報提供事業)

障害学生が在籍している大学は? 点字試験をしている大学は? 講義にノートテイクをつけている大学は? 車で移動できる大学は? ……

「こういう条件で検索してほしい」という内容をお知らせいただければ、ご希望の大学リストを作成してお送りします。また、地域別の検索もできます。

※利用料金 情報提供基本料金一回五〇〇円+項目別一検索項目あたり一〇〇円

《どうしよう? 分からない……》(相談事業)

大学受験、学生生活、授業や課題……

障害学生を受け入れ方法、サポート方法……

障害をもつ当事者が、電話・FAX・メール・面接で相談に応じます。不安や疑問があるときは、一人で考え込まないで、気軽な気持ちでお問い合わせください。

※土曜日午後と長時間の相談は予約制になっています。事前にご連絡ください。

※利用料金 予約相談:一回一時間一、〇〇〇円(最初のお問い合わせは無料です)

《さがしたい!! 新しい友達 新しい情報》(障害をもつ学生交流会)

毎年一回、障害をもつ学生交流会を開催しています。交流会は障害学生が中心に企画し、障害をもつ同年代の仲間と友達を作る場、受験や学生生活、障害について話し合える場になっています。参加対象は障害をもつ高校生と大学生です。みなさんの参加をお待ちしています。

※次回予定は:二〇〇五年三月二〇日(日)・二二日(月)

場所: Bumb (東京スポーツ文化館)

《障害学生中心のネットワーク作りをめざしています!》

(障害学生メーリングリスト)

センターでは、他の障害学生に質問したり、それぞれが取り組んできたことを伝えたりできる場として、登録した障害学生が自由に情報交換できるメーリングリストを運営しています。地域や障害種別を超えて気軽に情報交換したり相談し合えたりするような学生同士のネットワークができるということです。

※参加できるのは原則として障害当事者です。障害学生(高校生・大学生・卒業生・その他大学進学を希望されている方など)。

《知ってみたい!! 障害者の状況》(『情報誌・障害をもつ人々の現在』)

センターの機関誌として、『情報誌・障害をもつ人々の現在』を年四回発行しています。当センターの活動状況、障害をもつ学生からの投稿、全国にある障害学生支援団体の紹介や障害者に関するさまざまな情報を掲載しています。

【委員のご案内】

・利用会員:センターの事業を利用する方(個人)。相談と情報提供の利用料金が無料になります。

年会費:三、〇〇〇円

・情報誌購読会員:『情報誌・障害をもつ人々の現在』の間購読のみをされる方。

年会費:二、〇〇〇円

・賛助会員:センターの活動に賛同し、資金面でご協力くだ

さい。障害学生支援に利用させていただきます。
年会費…ひとくち三、〇〇〇円から

※会員になると、こんな特典があります

・センターで扱っている書籍を定価の二割引でご購入いただけます。

・年四回、「情報誌・障害をもつ人々の現在」をお送りします。

・その他、センターからの情報をお送りします。

※申し込み方法 いずれの会員も登録用紙にご記入の上、会費を郵便振替にてお支払いください。その際、会員年度と会員種別をご記入ください。

「センター取り扱い書籍」

・『大学案内2005障害者版』

編集…全国障害学生支援センター

定価…二、九四〇円（本体二、八〇〇円＋税一四〇円）

・『調査と体験文からみた障害学生の現状とニーズ』

編集…西村伸子 発行…全国障害学生支援センター
定価…一、〇二九円（本体九八〇円＋税四九円）

・『大学案内2001障害者版』

編集…全国障害学生支援センター
定価…二、七三〇円（本体二、六〇〇円＋税一三〇円）

・『大学案内2000障害者版』

編集…わかこま自立生活情報室
協力…全国障害学生支援センター
定価…二、八三五円（本体二七、〇〇円＋税一三五円）



※これらの書籍は書店・取次では取り扱っておりませんので直接当センターへお申し込みください（消費税はいただいております）。

「全国障害学生支援センター お問い合わせ先・活動時間等」

所在地 〒一九四一〇〇三二

東京都町田市森野二二二八―二 A―一〇七

TEL・FAX 〇四二一七二〇一〇〇二七

Email info@nscsd.jp

ホームページ <http://www.nscsd.jp/>

※センターからのご案内や各種情報を掲載しています。また、書籍のご注文や障害学生メーリングリスト・会員のお申し込みもできます。

※活動時間…毎週火曜日から金曜日（一〇時～一七時）
※なお、大学入試センター試験翌日の月曜日は活動いたしません。

※祝祭日（月曜日が休日の場合の火曜日も含む）、年末年始（一月三〇日～翌年一月三日）、ゴールデンウィーク（四月二九日～五月五日）、お盆休み（八月二三日～八月一九日）はお休みをいただいております。

会費・寄付・書籍代などのお振込み先

郵便振替 〇〇一六〇一六一五六二四〇

（加入者名…全国障害学生支援センター）